

科目名	Linux実習2							年度	2025
英語科目名	Linux 2							学期	後期
学科・学年	ITスペシャリスト科 2年次	必/選	必	時間数	60	単位数	2	種別※	実習
担当教員	春田一郎		教員の実務経験	有	実務経験の職種		組込みエンジニア		
【科目の目的】 Linuxの基本コマンドを理解し、小規模なネットワークを構築できるLinux管理者を目指す。									
【科目の概要】 Linuxを使用してインターネットで利用される様々なサーバを構築します。									
【到達目標】 Linuxシステムのアーキテクチャを理解し、Linuxワークステーションのインストールからネットワーククライアント設定、さらにバックアップと復元、シャットダウンと再起動ができることを目標とする。これらの内容は、LPIが認定するLPICレベル1102試験相当の内容であり、履修後は受験を推奨する。									
【授業の注意点】 Linux実習1のでの履修内容を理解していること。各自のノートパソコンを利用するため、毎回忘れずに持ってくること。また、仮想環境（OracleVMVirtualBox）を事前にインストールされており、CentOS7が動作する環境であること。									
評価基準＝ループリック									
ループリック 評価	レベル3		レベル2		レベル1				
	優れている		ふつう		要努力				
到達目標 A	シェル、シェルスクリプトをしっかり理解して使用することができる		シェル、シェルスクリプトをある程度理解して使用することができる		シェル、シェルスクリプトをあまり理解していなくて使用することができない				
到達目標 B	管理タスクをしっかり理解している		管理タスクをある程度理解している		管理タスクをあまり理解していない				
到達目標 C	システムサービスをしっかり理解している		システムサービスをある程度理解している		システムサービスをあまり理解していない				
到達目標 D	ネットワークの基礎をしっかり理解している		ネットワークの基礎をある程度理解している		ネットワークの基礎をあまり理解していない				
到達目標 E	セキュリティをしっかり理解している		セキュリティをある程度理解している		セキュリティをあまり理解していない				
【教科書】									

「新Linux/UNIX入門」 林晴比古著 (SBクリエイティブ)

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

試験と課題、理解度確認の小テストを総合的に評価する。授業参加度、授業態度も評価に含まれる。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		Linux実習2			年度	2025
英語表記		Linux 2			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価
1	オリエンテーション	授業概要の理解	1 オリエンテーション	前期の復習をして、基本的な操作ができる		
2	シェルとシェルスクリプト	シェルの習得	1 シェルとシェルスクリプト	既存のスクリプトをカスタマイズしたり、単純な新しいBashスクリプトを書くことができる		
3	リモートデスクトップ	リモートデスクトップの理解	1 リモートデスクトップ	X11をインストールして設定できる		
4	管理タスク(1)	管理タスクの理解	1 管理タスク	ユーザアカウントの追加、削除、一時停止、および変更ができる		
5	管理タスク(2)	管理タスクの理解	1 管理タスク	cronとsystemdのタイマーを使用して定期的にジョブを実行し、特定の時間にジョブを実行できる		
6	管理タスク(3)	管理タスクの理解	1 管理タスク	英語とは異なる言語でシステムをローカライズできる		
7	システムサービス(1)	システムサービスの理解	1 システムサービス	システム時間を適切に維持し、NTPを介してクロックを同期させることができる		
8	システムサービス(2)	システムサービスの理解	1 システムサービス	一般的に利用可能なMTAプログラムを認識し、クライアントホスト上で設定できる		
9	システムサービス(3)	システムサービスの理解	1 システムサービス	CUPSとLPD互換インターフェースを使用して印刷キューとユーザ印刷ジョブを管理できる		
10	ネットワークの基礎(1)	ネットワークの基礎の理解	1 ネットワークの基礎	TCP/IPネットワークの基礎を正しく理解できる		
11	ネットワークの基礎(2)	ネットワークの基礎の理解	1 ネットワークの基礎	Linuxホストの永続的なネットワーク構成を管理できる		
12	ネットワークの基礎(3)	ネットワークの基礎の理解	1 ネットワークの基礎	クライアントホスト上のネットワークングの問題をトラブルシューティングできる		

13	セキュリティ (1)	セキュリティの基礎 の理解	1	セキュリティ	ホストのセキュリティを保証するためにシステム 構成を確認できる		
14	セキュリティ (2)	セキュリティの基礎 の理解	1	セキュリティ	基本レベルのホストセキュリティを設定できる		
15	セキュリティ (3)	セキュリティの基礎 の理解	1	セキュリティ	公開鍵技術を使用してデータと通信を保護できる		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等